

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp vol.47



ごあいさつ 安全・安心の その先へ——

私の3期目の議員活動も、早いもので4年の月日が流れようとしています。これまでの皆様の温かいご支援に心から感謝を申し上げます。

この4年間を振り返ってみると、震災や竜巻、大雪など様々な自然災害に見舞われ、改めて『安全・安心のまちづくり』の必要性を痛感しました。現在、真岡市では小中学校の耐震化工事が進められ、さらに地域防災計画の見直しや防災意識高揚のための『災害図上訓練』の普及なども取り組まれているところです。

その一方で、昨年5月に発表された『消滅可能性都市』に代表されるように、人口減少時代の本格的な到来にどう向き合っていくのか、喫緊の課題となりつつあります。ある推計によれば、2040年の真岡市の人口は約6万7千人。ちょうど合併する前の旧二宮町に相当する人口が減少すると言われています。

30年後、50年後を見据えて、真岡市が持続可能な発展を遂げていくために、そして市民が本当の意味での安心を手にするために、『定住促進』や『地域ブランドの確立』など、安全・安心のさらにその先をにらんだ取り組みを急ピッチで進めていくことが、若い世代の私達に課せられた使命なのだと考えています。

真岡市議会議員 **中村 和彦**

☆お気軽に声をかけて下さい。
お友達との井戸端会議、勉強会等、2〜3人でも結構です。どこへもお伺いいたします。
☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！
お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を！

一般質問が実現します！



『子育て支援センター』が日曜日も開園

現在、田町にある『子育て支援センター』（今後、施設名は『第1子育て支援センター』に変更）が、2月22日（日）から日曜日も開園されることになりました。同センターは、未就学児と保護者が一緒に時間を過ごすとともに、子育てに関する相談もできる機能を有しています。日曜日も開園となることで、安心して子育てができる環境に一步近づくものと期待されます。

また、大谷台町で整備を進めている市営住宅（コマツの独身寮だった建物を活用）の中にも『第2子育て支援センター』が新たに開設されることになりました。

第1子育て支援センター
真岡市田町14-4
開園日：年末年始を除き毎日開園
利用時間：9時～17時
対象：未就学児と保護者

第2子育て支援センター
真岡市大谷台町25-1
開園日：月～金曜日
利用時間：9時～17時
対象：0歳～1歳児と保護者

※ご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

12月定例議会報告 12/2 ▶ 12/16

12月定例議会が、12月2日（火）から16日（火）にわたって行われました。今回、執行部から上程された議案は、『第11次市勢発展長期計画基本構想』、『子ども医療費助成条例等の一部改正』をはじめ計21件で、いずれも原案通り可決しました。質疑・一般質問は、8日（月）、9日（火）の2日間にわたって行われ、9名の議員が登壇しました。また、8日の質疑・一般質問を前に行われた議場コンサートでは、『舞ヶ丘合唱団』の皆さんが美しい歌声を披露されました。



『議会基本条例』に関する研修会を開催！

市議会では、12月定例議会最終日にあたる16日（火）に、宇都宮大学国際学部の中村祐司教授を講師としてお招きし、『議会基本条例』に関する勉強会を開催しました。

『議会基本条例』とは？

地方議会の運営方法や、住民とのコミュニケーション手段などについて定めた条例。真岡市議会では未制定だが、全国状況を見ると、平成25年度末の時点で『議会基本条例』を制定している地方議会は571（全体の31.9%）。そのうち市議会では341（市議会全体の44.3%）に及んでいる。



「見逃した」という方に
バックナンバーをお送りします
これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ました。1〜46号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日
5月24日（日）
発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。

数字で見る真岡市 ~真岡市のごみ減量の推移~

真岡市では昨年4月から、もえるごみの有料化がスタートしました。

今回は、制度が始まって以降、真岡市のごみがどれだけ減量したのか。昨年度と今年度で比較しながら見ていきたいと思います。

● もえるごみの月別比較

単位：t

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成25年度	1275.86	1327.48	1225.98	1417.73	1428.20	1294.11	1263.81	1207.19	1227.87
平成26年度	885.34	1040.55	1058.71	1148.14	1118.08	1124.84	1057.73	953.89	1084.30
増減割合 (%)	-30.61	-21.61	-13.64	-19.02	-21.71	-13.08	-16.31	-20.98	-11.69

4月~12月のもえるごみ **18.83%の減少**

● 収集ごみ総計の比較

芳賀地区広域行政事務組合が運営するごみ処理施設「芳賀地区エコステーション」に負担する金額は、各市町から出される「収集ごみ総計」（もえるごみ+もえないごみ+粗大ごみ+資源化物など）によって決まります。

そこで、真岡市の収集ごみ総計を昨年度と今年度で比較してみると…

平成25年4月~12月 **18943.96t** ⇒ 平成26年4月~12月 **16682.74t**
11.94%減量

おさらいをしてみました

これまで紹介した『数字で見る真岡市』から 見えてきた今後の課題

わたしはこう考える
今後の取り組み



(1) 平均寿命・健康寿命

平均寿命 健康寿命
 男性 79.35歳 77.98歳
(79.19) (77.90)
 女性 85.95歳 83.19歳
(85.77) (82.88)
※カッコ内の数字は県平均

課題

男性、女性とも平均寿命と健康寿命は県平均を上回っている。その一方で「脳血管疾患」による死亡率が全国でも特に悪い栃木県の中で、真岡市は県の水準よりもさらに悪いとされている。

昨年、真岡駅前に『まちなか保健室』がオープンしましたが、こうした施設を市内各所に配置し、予防介護を進める必要があります。さらに、相談機能を強化させ、将来的には「タテワリ」ではなく『ヨコワリ』の高齢者福祉を構築すべきと考えます。

(2) 市債(市の借金)

平成14年度 平成24年度
 636億6557万8千円 ▶ 533億8351万2千円
 (最高額は651億1936万6千円 平成12年度)

課題

11年間で約103億円の市債が減少している。ただし、現在「総合運動公園」が整備中であり、今後も「市庁舎建設」など大型の公共事業が計画されている。

旧二宮町との合併を経ながらも、市債の総額は合併前より抑制されていることは高く評価できると思います。今後も健全な財政運営に努めるため『公共施設マネジメント計画』を早急に策定し、老朽化していく公共施設の長寿命化や再編成を進めていく必要があると考えます。

(3) 住みよさランキング・経営革新度調査

住みよさ 全国813市・区中 207位
 経営革新度 全国813市・区中 433位

課題

『住みよさランキング』の順位を大きく下げた原因として、①小売業の商品販売額が落ち込んでいること、②評価基準に保育所の待機児童数が増えたことなどが挙げられる。『経営革新度』は、まちづくり全般で市民が参画する機会が他市に比べて少ないことが課題となっている。

ランキングの順位を上げるための取り組みというものあまりに不毛ですが、市全体の利益を考えたとき、①小売業を中心とした起業家支援として、空き店舗対策を進め、時間をかけながら中心市街地のにぎわいをつくる②下記の待機児童対策に取り組む③市役所の組織として『協働推進課』を立ち上げ、協働のまちづくりを加速させるといった施策は早急を実施すべきと考えます。

(4) 保育所の「待機児童」

措置率(入所できた児童の割合) 51.6%
 待機児童19人 入所保留児童118人

課題

以前から、共働きの世帯が多く、保育所のニーズは高かったが、特にこの数年で急増している。平成26年4月1日現在では、措置率、待機児童、入所保留児童いずれも県内ワースト1の状態となっている。

子ども医療費助成の対象年齢拡充をはじめ、真岡市は近年、子育て環境が整備されてきました。『認定子ども園』など制度も活用しながら、待機児童問題の早期解消に努め、「安心して子育てができるまち」としての地域ブランドをつくりあげていければと考えます。

12月定例議会で、子ども医療費助成の制度が改正され、医療機関の窓口での立て替えが必要ない「現物給付」の対象年齢が、現行の3歳から小学6年生にまで引き上げられることとなった（実施は今年4月1日から）。以前、子ども医療費助成の対象年齢拡充を、議会で繰り返し訴えていた私としては、非常に感慨深いものがある。

また、この定例議会では、田町にある子育て支援センターの日曜開園も正式に決まった（実施は今年2月22日から）。併せて、大谷台町に整備されている新しい市営住宅の中には「第2子育て支援センター」も開設される。

これらの取り組みは、真岡市に住む子育て世代が恩恵を受けることはもちろんであるが、新しい定住先を探している市外の人々にも一定のインパクトを与えるものだと考えている。

今回の「中村かずひこ通信」の冒頭でも述べたが、本格的な人口減少時代が到来している。そうした中で、各自治体とも若い世代のUターン、Iターンをいかに促進していくかは、将来を見据えて避けられない課題である。

では、子育て支援のその先で、保護者が求めるものとは一体何だろうか。それは、取りも直さず「教育」であろう。

真岡市は「教育日本一のまち」を目標として掲げていた時代があった。その当時に取り組みされてきた内容については、様々なご意見があるかも知れないが、私はまちづくりの方向性としては間違っていないかと今でも思う。それは、この真岡市の歴史を振り返ってみると、なおさら強く感じるのである。

東京都練馬区に「唐澤博物館」という施設がある。ここは、教育史研究家の唐澤富太郎氏（1911～2004年）が、長い年月をかけて収集した数多くの教育資料が展示されている。

その展示物の1つとして、江戸時代に現在の真岡市田町に開設されていたという寺子屋「精光堂」の看板があることを、ご存知の市民は少ないのではないだろうか。「精光堂（精耕堂と言われた時期もあった）」は、

コラム
ずーむ
あっぴ

教育と生涯学習で真岡市を変える
～地域ブランド確立に向けて～

天保11年（1842年）から約50年にわたり1000人近くの門弟を輩出したと言われている。「真岡市史」などを読むと、当時このような寺子屋は、現在の真岡市のエリアに数多く存在していたようだ。

また、その後の真岡市の歴史を見ても、栃木県が発足した翌年の明治7年に各集落で小学校の開設が相次ぎ、明治33年には県内で3番目の旧制中学が開校したなど、このまちの先人達は教育に極めて高い志で挑んでいたことを教えられるのである。

私はこれまでも、真岡市のまちづくりのキーワードは「教育と生涯学習」であるということをしつくりと繰り返してきてきた。これは、子ども達の教育に限った話ではない。

現在の真岡市を見渡したとき、実に多くの方々が特技や趣味を活かしながら、まちづくりに積極的に参加されている。視察や研修で見てきた他県の自治体と比べても、真岡市の地域コミュニティ活動などは、もっと胸を張って外部に発信してもいい取り組みだと思う。

そして、「教育と生涯学習」のキーワードを、他分野の施策と結びつけてみると、また違った視点も浮かび上がってくる。

例えば、現在真岡市が特に力を入れている観光事業について見ても、「いちご」「木綿」「二宮尊徳」「親鸞上人」「SL」といった1つ1つの資源に「生涯学習」というフィルターをかけてみると、「体験型観光」として非常に面白い要素を有している。

また、次世代の地場産業を創出するための「起業家支援」も、人を育てるという意味で生涯学習の範疇に入るものだと考える。

昨年、ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんは、国連でスピーチした際に「世界を変えるのは教育である」と述べたが、それになぞらえれば「真岡市を変えるのは教育と生涯学習である」と私は思う。

このまちは、もっともっと大きな可能性を秘めている。

ご協力ありがとうございます 市政アンケートに寄せられたご意見

総合体育館は老朽化が進み、床が歪んでいて、運動をするにも危険です。空調も満足のいくものではなく、全面的な改修が必要ではないでしょうか。

所属会派「真政クラブ・公明」が市長に提出した建議要望に総合体育館の改修を盛り込ませていただきました。その回答では、平成28年度に耐震二次診断と詳細設計、29年度に耐震工事を計画していることから、それに合わせてアリーナ等の改修も検討していくとのことでした。

全国の自治体で、建築士などの報酬を払った際の「源泉徴収漏れ」が問題となりましたが、真岡市は大丈夫でしょうか。

ご指摘いただいた件について、担当課などが調査をした結果、幸い真岡市ではそうした問題はなかったとのことでした。

ほんの一部ですが…
皆さまからお寄せいただいたご意見を紹介します

- 空き店舗の活用方法については、もっと真剣に取り組むべきではないか。
- コットベリー号をもっと便利にするために、走る時間帯やコースを見直してほしい。
- 真岡市はサッカーのまちなのだから、人工芝のサッカー場を整備してほしい。
- ペットの「ふん害」について他市を参考にし「対策条例」を制定してほしい。
- 真岡市に引っ越してきて夕方の暗さに驚かされた。子ども達の安全を守るために防犯灯の増設を。
- 鬼怒自然公園の周辺には公衆トイレが無く、大変に不便。

この度は、多くの方々にご意見をお寄せいただき、本当にありがとうございます。いただいた1つ1つのご意見を、今後の政策づくりの参考としてまいります。



アンケートにご協力をお願いします

「市民アンケート」皆様の声をお聞かせ下さい。

下のハガキを書いて ▶ 切り取って ▶ ポストへ投函
(投函する際、切手は不要です。)

料金受取人払郵便

3 2 1 4 3 9 0

真岡局承認

531

差出有効期間
平成27年10月
26日まで
(切手不要)

真岡市熊倉町3423-4
真岡市議会議員

中村かずひこ行



市政アンケート

差し支えなければ、お名前、ご住所等もご記入ください。

お名前	
ご住所	(〒 -)
お電話	
Eメール	



ふりかえってみました！！

3期目
4年間

中村の議員活動総点検



4年前の選挙で主張した『中村的マニフェスト 5つの指針』

- 1.教育・生涯学習の分野で日本一を**
各学校への専任司書配置、市独自の教育カリキュラム導入など
- 2.地域の産業を支援、真岡市の誇りに**
『地域通貨』の導入、起業家支援策の充実など
- 3.環境を守り、持続可能社会を**
ごみ減量化の推進、『環境共生モデル事業』、『市民トラストの森』など
- 4.人口減少・超高齢化社会に対応した福祉政策を**
高齢者と家族が相談ができる場の整備など
- 5.議会が率先した改革を**
議員定数の削減、『議員基本条例』の制定など



議員定数の削減、
『議員基本条例』の制定など

今任期中に行った一般質問の内容

(一般質問通告書の中項目でカウント)

防災・放射能対策	12回
学校教育	7回
地域経済 (空き店舗、起業家支援、発電所誘致、地域通貨など)	7回
財政健全化	5回
生涯学習・スポーツ	3回
協働のまちづくり	3回
子育て・医療	2回

そして、実現した施策

1. 議員報酬20%削減(平成23~24年度)
2. 議員定数7名削減
3. 『インキュベーションマネージャー』を
商工会議所に配置(※職員の退職により現在は空席)
4. 『ひまわり園』が旧コンピュータカレッジに移転
5. 放射能測定に市職員を派遣
6. 学校図書館に専任司書を配置
7. 天然ガスを活用した火力発電所の誘致(平成31年度開設予定)
8. 『災害図上訓練(DIG)』の実施
9. 自治基本条例が成立
10. 『まちなか保健室』が開設
11. 『地域共助活動推進事業』がスタート



総括

「4年前の選挙で皆様に訴えたことを言い放しのままにしたい」そうした思いから、今回このような形でまとめてみました。副議長、監査委員を務めたこともあり、一般質問ができたのは平成24年度のみですが、同僚議員の協力を得ながら、これまでとは違った角度からも政策提言することはできたと考えています。質問では、防災対策に関するものが多くを占めることになりましたが、『ひまわり園の移転』や『学校図書館の専任司書配置』、『自治基本条例の制定』など、これまで訴えてきたものが実現できたことは本当に嬉しい限りです。ただし、議会改革については、定数削減以外に実現した項目が少なく、『議会基本条例の制定』をはじめ、さらに努力を重ねなくては…と感じております。

中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとじて適正に処理します。

※入会希望の方は中村までご連絡下さい。
(振り込み先) 真岡信用組合本店 普通口座 2099671
中村かずひこと未来をつくる会 代表 中村和彦

「このハガキではスペースが足りない！」という方は、メールでもご意見を受け付けております。
tonpei@i-berry.ne.jp 全て中村が読ませていただきます。

市政アンケート

『やるなら今でしょう!』

あなたが考える真岡市の課題をお聞かせください。



頂いたご意見は全て拝見し、今後の活動に活かしてまいります。ご協力ありがとうございました!

中村かずひこと活動日誌

11月	
1日	市制施行60周年記念式典
6日	明治大学校友会栃木県支部役員会
9日	大谷地区文化祭
10日	あいさつボランティア さくら市議選の応援
11日	さくら市議選の応援 真岡地区PTA連絡会との意見交換会
12~13日	清溪セミナー(於:東京 日本青年館)
13日	芳賀郡市町議員自治研修会(於:市貝町)
14日	さくら市議選の応援
15日	伊夜日子会研修(於:埼玉県川越市)
17日	あいさつボランティア
25日	会派代表者会議 議会運営委員会 議員協議会
26日	出納検査
28日	七井松が丘英荘訪問(『ひばりの会』の活動として)
29日	全国報徳サミット真岡市大会
30日	明治大学真岡地区OB会

12月	
1日	あいさつボランティア
2日	12月定例議会開会 会派代表者会議 議会運営委員会 議会制度定数・報酬等検討委員会
3日	障がい者の施設のあり方に関する勉強会
4日	真岡自然観察会打ち合わせ
7日	伊夜日子会奉仕作業
8日	あいさつボランティア 質疑・一般質問1日目
9日	質疑・一般質問2日目 会派代表者会議 議会運営委員会
10日	真岡青年会議所卒業式
11日	民生産業常任委員会
13日	真岡自然観察会
15日	ひまわり園訪問(『ひばりの会』の活動として)
16日	12月定例議会閉会 市議会だより編集委員会 議会基本条例勉強会
19日	出納検査
24日	真岡新聞音訳作業(『ひばりの会』の活動として)
25日	やまさわの里役員会



1月	
6日	賀詞交歓会
9日	会派代表者会議
10日	出初式
11日	成人式 大谷冬まつり
15日	市議会だより編集委員会 会派勉強会
18日	伊夜日子会奉仕作業 8月の会「今、次世代に伝えたいこと」
19日	あいさつボランティア
20~21日	会派視察研修(岩手県紫波町、宮城県仙台市)
21日	真岡青年会議所総会
22日	全国若手市議会議員の会研修会 (於:神奈川県横浜市)
23日	出納検査・定期監査
24日	真岡自然観察会
26日	あいさつボランティア 障がい者の施設のあり方に関する勉強会
28日	芳賀郡市町監査委員研修会 石坂真一県議「新春の集い」
29日	交通安全市民大会